



学校だより

調布市立調和小学校
令和8年2月27日(金)
校長 安藤 力也

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho> Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

アルモニア Armonia=調和の心

校長 安藤 力也

2月22日に閉幕したミラノコルティナ2026冬季オリンピックでは、4年間(いやそれ以上)積み上げてきた努力の成果をこの一瞬に発揮することを目指し躍動する選手たちの姿や織り成すドラマの数々にくぎ付けとなる毎日でした。その中でも大会開幕に合わせ6日に行われた開会式、史上初の4会場に分かれて行われたことやサッカーで有名なサン・シーロスタジアムが使われたことにも関心がありましたが、私が最も心に残ったこと、それはアナウンサーが語った「開会式のテーマはArmonia(調和)です。」という言葉でした。その後、「イタリア語Armoniaは『調和』『つながり』『結び付き』を意味します。」とアナウンサーの言葉は続きました。世界的な一大イベントであるオリンピックの開会式のテーマが勤務する小学校の校名であることがとても誇らしく、また、本校が基本理念の一つとして掲げている『自他尊重』につながる価値観が取り上げられていることをとてもうれしく思った私は、その言葉をあわててメモにとりました。

寒さ厳しい2月の朝、いつものように正門に立ち、登校する子どもたちを迎えていると、日頃からとてもお世話になっている地域の方が私に声を掛けてきました。「私の娘が小さな子どもを連れて公園に遊びに来た時、それまで遊んでいた調和小の高学年くらいの子もたちが、『小さい子が来たよ。気を付けて。』とお互いに声を掛け合ったり、私を気遣って声を掛けてきてくれたりしたのです。今回だけではなく、これまでもそういうことがあり、とても感心していたので校長先生にお知らせしたくてお話ししました。」とお話くださいました。寒さを忘れ、心がぽっと温まるうれしいひと時でした。

また、2月には1年生と5年生が近隣の保育園・幼稚園児を迎え、交流会が開かれました。園児たちに昔遊びを教える1年生も、園児たちの手を引きながら学校内を案内する5年生たちも優しく、どこか誇らしげなその姿をうれしく感じながら見守っていました。すると、その時来校いただいた保育園の園長先生よりお手紙が届きました。そこには「…(前略)卒園が近付く中で不安を抱いていた子どもたちにとって、卒園した1年生との関わりや優しい5年生との校内案内の時間は、大きな安心へとつながっていたように感じます。また、卒園児となる5年生数名からは「お久しぶりです。」と声を掛けてくれる場面もあり、立派に成長した姿に喜びを感じる出会いとなりました。(後略)…」とありました。うれしくてすぐにいただいたお手紙を感謝の心とともにファイリングしながら、調和小の子どもたちに育まれる豊かな心に、私の心もさらに、さらに温かくなる思いでした。

二つのことはどちらも「『調和』の心」の育成につながるすてきなエピソードです。「調布市公立小中学校28校の中で教育理念を校名とする唯一の学校」であるこの調和小学校の校名である「『調和』の心」をこれからも大切に育んでまいります。

いよいよ令和8年度の全教育課程を修了いたします。この1年間、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りましたことをこの場をお借りしまして心より感謝申し上げます。学校を温かく支え、学校とともに子どもたちを育ててくださる地域・保護者の皆様の期待にさらに応えていけるよう、これからも「子どもたちの未来に触れている」という誇りと責任を胸に、子どもたちの「調和の心」を育み、一人一人の無限の可能性をさらに伸ばし、広げていくことができるよう精いっぱい努めてまいります。次年度も引き続き温かな御支援をよろしくお願いいたします。

【第7回学校運営協議会 報告】

◇日時:令和8年2月18日(水)13時30分より

◇会場:本校会議室

◇出席者:三浦伸幸(委員長)・小川雅弘・浜中佳朗・姫野由利子・平尾弥生・安藤力也・佐久間信介(敬称略)

◇内容:学校の教育活動・現況報告・情報交換

:R7度学校運営協議会学校評価報告書の確認

:R8度学校経営方針の提案・承認